

特集

権力者たちがいま、やりたいこと

総選挙で何が問われるのか

横田昌三 10

権力の道具としての教育

権力に抗う力としての教育

中條克俊 16

スパイ防止法とは何か

戦争のできる「普通の国」づくり

海渡双葉 20

自国第一で壊される日中関係

近藤和樹 23

原子力推進を止める闘い 意義と課題

海渡雄一 26

男社会ニッポンの認める「共生」「共同参画」社会… 齊藤小百合 30

『階級』で社会を見る

平地一郎 34

国家と教育 35 9条俳句不掲載事件

岡島慶太 37

職場の法律相談

フリーランスやプラット
フォームワーカーの労働者性

花垣存彦 54

実践労働法 2 人格的利益の尊重

北川鑑一 57

「からまなぶ『賃金論』」10 資本主義における労働… 菅原修一 61

- ◆ 働く現場から
- ◆ キャラバンサライ
- ◆ スポーツ時評
- ◆ 世界はいま
- ◆ 経済を知ろう!
- ◆ 中国観看

50 48 46 44 42 41

- ◆ 働くものと健康
- ◆ 情報BOX
- ◆ 北から南から
- ◆ センターとみなさんをつなぐ

68 66 65 52

カット||野崎安希子

まなぶということ

各地区に学習会を組織し、平和運動をひろげる

飯沼 秀雄

昨年3月から現役としての活動から、学習会をつくることと退職者関係の運動や平和運動を重点に活動しています。

事務局をしている退職者連合地域協議会では、地域交流や学習会等を開催しています。昨年は、戦後80年を記念して、「松戸市の戦跡」について、松戸市博物館の近代史担当の学芸員を講師に開催しました。

たとえば、松戸市にはかつて、鉄道連隊と、陸軍工兵学校がありました。工兵学校の歩哨舎と門柱が市有形文化財として保存されています。

松戸市においては毎年、反核平和の火りレー実行委員会と護憲原水禁松戸で実行委員会を結成し、松戸市長・当局に「平和事業の充実」を求めて市長へ要請行動をしています。

また戦争をさせない1000人委員会松戸を結成し、毎月、市内主要駅におい

て宣伝行動をしています。政党や労働組合、市民団体が13年間継続しています。

物価上昇が賃上げを上回り、実質賃金下がっています。不安定な雇用で働く人、短時間労働で働く人に格差と貧困が広がっています。

排外主義的な宣伝で海外や国内の外国人(米国人やヨーロッパ人以外)との反感と対立が強まっています。高市政権はそのような情勢を利用して中国との対立を引き起こしています。

私たちの課題は、若い世代が右翼的排外主義的政権を支持している事態を変えることです。このようなことが起きるのは私たちの運動の弱さでもあります。労働組合に加入しない、平和運動に参加しないことも私たちに共通する悩みです。

学習を広げる以外に、運動を強化する以外に方法はありません。

千葉県労働大学連絡会では各地区に学習会を組織しようと訴えています。はじめは年配者だけでも若い世代が参加できる「器」をつくらうと呼びかけています。まずは、身近な人に『まなぶ』誌の購読を進めましょう、学習会に参加を呼びかけましょう。

(千葉県労働大学連絡会代表)